

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	独立行政法人国立青少年教育振興機構施設整備に必要な経費		事業開始年度	平成18年度	作成責任者	
担当部局庁	スポーツ・青少年局		担当課室	青少年課	青少年課長 勝山 浩司	
会計区分	一般会計		上位政策	青少年の健全育成		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立青少年教育振興機構法 第3条、第11条		関係する計 画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月 閣議決定) 青少年育成施策大綱(平成20年12月 青少年育成推進本部)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	青少年教育の振興及び健全な青少年の育成					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	独立行政法人国立青少年教育振興機構の設置する研修施設の整備充実を図るため、機構が行う研修施設の整備に要する経費に対して補助を行う。					
実施状況	13施設において181件の設計・工事等を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	200	4,477	4,843	226	57
	執行額	200	244	4,514		
	執行率	100%	5.5%	93.2%		
	総事業費(執行ベース)	200	244	4,514		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	独立行政法人国立青少年教育振興機構施設整備費補助金交付要綱に基づき、独立行政法人から申請のあった事業計画書を審査し、補助金の交付を決定している。また、事業実施後に提出のあった実績報告書を審査し、補助金の額を確定するとともに、支出実績を把握している。				
	見直しの 余地	保有資産の見直しの観点から、従来からの国立オリンピック記念青少年総合センターの土地購入計画を凍結したが、子どもたちを中心とした青少年教育施設の利用者が安心・安全に体験学習できる環境を整備するため、老朽化した基幹設備やライフラインの更新・改修を中心に行うこととしている。				
予 算 監 視 の 効 率 化	1. 事業評価の観点： この事業は、子どもたちを中心とした青少年教育施設の利用者が安心・安全に体験学習できる環境を整備するため、老朽化した基幹設備やライフラインの更新・改修を中心に独立行政法人国立青少年教育振興機構の申請に基づき、必要な経費を補助する事業であり、コスト縮減の観点から検証を行っている。 2. 所見： ①中・長期的な展望の下、策定した年次計画に沿って、計画的・効果的な施設整備を行うべきである。 ②競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
補 記	○平成21年11月の行政刷新会議事業仕分け評価結果への対応 国立青少年教育振興機構 引き続き青少年教育のナショナルセンターの役割は果たしつつ、青少年交流の家、青少年自然の家について、諸条件が整ったところから順次自治体等への移管準備に着手 ※「予算の状況」欄の執行額について、 平成20年度補正予算額 4,233百万円(耐震改修等) → 平成21年度へ繰越し 4,233百万円 平成21年度補正予算額 4,614百万円(老朽化対策) → 平成22年度へ繰越し 4,562百万円					

文部科学省
4, 514百万円

独立行政法人国立青少年教育振興機構の設置する研修施設の整備充実を図るため、機構が行う研修施設の整備に要する経費に対して補助を行う。

〔補助〕

(独)国立青少年教育振興機構
4, 514百万円

独立行政法人国立青少年教育振興機構の設置する研修施設の整備充実を図るため、機構が行う研修施設の整備を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

【競争入札・契約】	【随意契約】	【競争入札・契約】	【競争入札・契約】	【競争入札・契約】	【競争入札・契約】	【随意契約】	【競争入札・契約】	【競争入札・契約】	【競争入札・契約】
【A】 ・中央交流の家研修棟新鋭工事 ・大豊建設株式会社 ・548百万円	【B】 ・花山自然の家災害復旧に伴う建築工事 ・株式会社 銭高組東北支店 ・285百万円	【C】 ・乗鞍交流の家宿舎棟耐震補強等改修工事 ・奥原建設株式会社 ・228百万円	【D】 ・沖縄交流の家研修棟他耐震補強等改修工事 ・株式会社 東恩納組 ・224百万円	【E】 ・中央交流の家研修棟新宮機械設備工事 ・三建設備工業株式会社 ・212百万円	【F】 ・赤城交流の家宿泊棟耐震補強等改修工事 ・株式会社 オーケンコーポレーション ・205百万円	【G】 ・オリンピックセンター土地購入 ・関東財務局 ・200百万円	【H】 ・大雪交流の家宿舎棟耐震補強等改修工事 ・株式会社 田中組 ・178百万円	【I】 ・江田島交流の家講堂食堂棟耐震補強等改修工事 ・錦建設株式会社 ・164百万円	【J】 ・磐梯交流の家本館耐震補強等改修工事 ・王子建設株式会社 ・155百万円
(中央交流の家における研修棟工事)	(花山自然の家における災害復旧に伴う建築工事)	(乗鞍交流の家における宿舎棟耐震補強等改修工事)	(沖縄交流の家における研修棟他耐震補強等改修工事)	(中央交流の家における研修棟機械設備工事)	(赤城交流の家における宿泊棟耐震補強等改修工事)	(オリンピックセンター土地購入)	(大雪交流の家における宿舎棟耐震補強等改修工事)	(江田島交流の家における講堂食堂棟耐震補強等改修工事)	(磐梯交流の家における本館耐震補強等改修工事)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 大豊建設株式会社			F. 株式会社オーケンコーポレーション		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	中央青少年交流の家研修棟工事	548	工事費	国立赤城青少年交流の家宿泊棟耐震補強等改修工事	205
計		548	計		205
B. 株式会社 銭高組 東北支店			G. 関東財務局		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立花山青少年自然の家災害復旧工事	285	土地購入費	国立オリンピック記念青少年総合センター土地購入	200
計		285	計		200
C. 奥原建設株式会社			H. 株式会社田中組		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立乗鞍青少年交流の家宿舍棟耐震補強等改修工事	228	工事費	国立大雪青少年交流の家宿舍棟耐震補強等改修工事	178
計		228	計		178
D. 株式会社東恩納組			I. 錦建設株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立沖繩青少年交流の家研修棟他耐震補強等改修工事	224	工事費	国立江田島青少年交流の家講堂食堂棟耐震補強等改修工事	164
計		224	計		164
E. 三建設備工業株式会社			J. 王子建設株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立中央青少年交流の家研修棟新営機械設備工事	212	工事費	国立磐梯青少年交流の家本館耐震補強等改修工事	155
計		212	計		155